

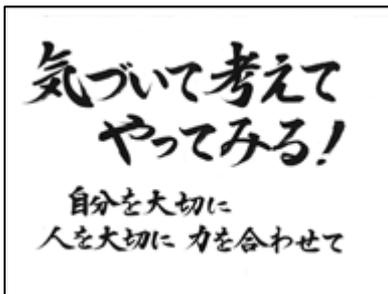
令和3年度加計小学校 1学期始業式 式辞



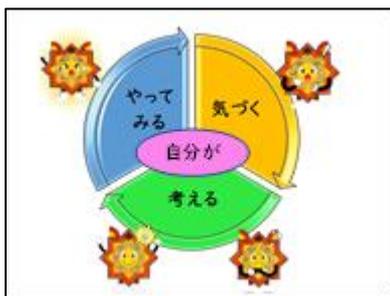
新しい1年が始まりました。春休みはどうでしたか。私の話を始める前に、堀辺先生が春休みの間に作ってくださった動画を一緒に見たいと思います。（「加計小学校の春」45秒）

きれいな桜でしたね。今年は桜が早く満開になってしまい、みんなで桜を楽しむことができませんでした。堀辺先生のおかげで校庭の桜をみんなで楽しむことができました。

さて、先ほど、新しい先生方を迎え、皆さんはそれぞれ1つ学年が進級しました。明日には17名の1年生が入学してきます。2年生は1年生の1つお兄さん、お姉さんになります。1年生をよろしくお祈りしますね。3年生、4年生は中学年として、お勉強も少し難しくなります。低学年さんのお手本になるようにがんばってください。5年生。いよいよ高学年の仲間入りです。1年後、6年生からリーダーのバトンタッチを受け取るために、6年生をよく観察しながら準備をしてください。6年生。加計小のみんながリーダーとしての6年生に期待しています。この1年間の加計小の歴史をどんなふうに描くのか、どんな色をつけるのかは皆さん次第です。私をはじめ先生方は全力でそのお手伝いをします。でも、実際に新しい歴史を作るのは学校のリーダーである6年生であり、101名の児童の皆さんです。20名の先生方と合わせて121人で歴史の1ページを創って行きましょう。



今年の加計小学校の目標は「気づいて考えてやってみる！—自分を大切に 人を大切に 力を合わせて—」です。昨年、皆さんと合言葉にしてきたものを学校の目標にしました。校舎の2階に大きな字でこの目標を掲げました。習字の先生として学校に来てくださっている清川先生に書いていただきました。勢いのある字を毎日目にしながら、いつもこの言葉を心において、児童の皆さんも先生方も、一緒にいろいろなことにチャレンジしていく1年にしていきたいと思います。



この春から皆さん一人ずつに1台のタブレットが用意されました。これをどう使って学んでいくか、先生方と工夫して色々使ってみてくださいね。

さて、この「気づく」「考える」「やってみる」というサイクルを授業でも生活でも、何度も何度も回してほしいと思っています。では、だれが回すのか。さてだれでしょう・・・先生？友達？6年生？そうですね、「自分」です。「誰かにやってもらうのではなく」「だれかに言われてするのではなく」、「自分が気づいて、考える」のです。もちろん、先生方も、友達も応援はしてくれますが、「やってみる」のは「自分」です。そこを忘れないようにしましょう。もう一つ、「やってみる」ことについてです。失敗したり、難しかったりして心が折れそうになることもあるでしょう。それでも「くじけずに最後まで、何度もやってみる」それを「やりぬく」といいます。そのため





には強い心が必要です。毎日少しずつその強い心を育てていきましょう。

さあ、121名の船出です。皆さんと一緒にどんな旅ができるのかとても楽しみにしています。1年後に成長した自分たちに大きな拍手が送れるようにがんばりましょう。

令和3年4月6日

加計小学校長 萩原 英子